

単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善（例）

【学 年】 小学校第 2 学年

【単元名】 ダイズでつながれば みんなパラダイズ ～1組のきなこ料理を楽しもう～（15 時間扱い）

【育成する資質・能力】

〔知識及び技能〕	〔思考力, 判断力, 表現力等〕
大豆は加工方法によって様々な物に姿を変えるとともに, 料理を食べる人によってその加工方法も多様にあることに気付いている。	大豆料理に関する課題について必要な情報を収集し, 試行錯誤して大豆料理をすることを通して, 課題解決の方法を考えている。

【主な学習活動と留意点】

前単元からのつながり：「大豆の活動を考えよう」 大豆を使ってどんな活動が広がるかを考えた。
・大豆を使った活動に関するインタビュー等の情報収集・情報整理をした。

生かす見方・考え方：大豆を使った料理について, 自分の思いや願いを実現しようとする事。

過程	学習活動 (時間)	留意点
思いや願いをもつ	1 1組のきなこ料理を考える (1) ・食べてほしい相手を考える。 ・グループに分かれて, 様々なきなこ料理を調べる。	<p>きなこ料理への願いや思いをもつ場面</p> <p>☞これまでの活動で関わった人々を想起することで, 相手意識が高まる工夫をする。</p> <p>活動への願い：おいしく食べてもらえる「1組のきなこ料理」を作りたい。</p>
活動や体験をする	2 きなこ料理に挑戦する (6) ・グループごとに計画を立てる。 ・食べてほしい相手を意識してきなこ料理を作ってみる。 ・先生方などに食べてもらい, 感想をもらう。	<p>きなこ料理を計画し, 実際に作ってみる場面</p> <p>☞グループごとの計画をもとに, 子供がどんな楽しさや難しさを感じているか捉える。</p>
感じる・考える	3 1組のきなこ料理を考える (6) ・グループで考えたきなこ料理の特徴を比べて考える。 ・食べてもらう相手に応じて, どのきなこ料理がよいのかを話し合う。	<p>相手に応じたきなこ料理を考える場面</p> <p>☞子どもの発言を分類して板書することで, 比較して考えられるようにしましょう。 ☞比較のポイントを意識できるようにする。</p>
表現・行為する	4 きなこパーティーを開く (2) ・お世話になった方々を招いてきなこパーティーを開く。 ・きなこパーティーを振り返り, 自分が達成できたことを絵や言葉などで表現する。	<p>対象への気づきを表現する場面</p> <p>☞活動のプロセスを振り返ることで, 子供自身が達成感などを味わえるようにする。</p>

次単元へのつながり：「大豆で人とつながる活動を考えよう」
・大豆料理販売, 大豆ミュージカル, 大豆の魅力発表会などを計画する。